

環境教育を考える シンポジウム

in弘前大学

全国下位に低迷している本県のごみ排出量やリサイクル率の改善、気候変動の様々な影響が懸念される地球温暖化の対策などの環境課題に対応し、県民意識の向上、環境配慮行動の拡大を図る上で環境教育は不可欠であり、効果的かつ安定的に環境教育を推進していくためには、環境教育に携わる担い手の育成や県民、環境保全団体、企業、大学、行政等の多様な主体が役割分担し協働した環境教育の取組が重要となっています。

このシンポジウムは、これからの環境教育を担う若者を育成するため、弘前大学が県から受託した「大学、NPO等が協働した環境教育・学習の仕組みづくりに向けた調査研究」の報告等を行いながら、**学生、環境保全団体、企業、行政等の幅広い方々とともにこれからの環境教育について考える場**として開催します。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。



アプローチ広場

場所：弘前だんぶり池



自然観察会

【写真提供弘前市】

日時 平成29年 **2月16日** (木) 14:00~17:00

会場 弘前大学教育学部1階 中教室
(弘前市文京町1)

参加無料

対象 学生、環境教育や環境保全活動に携わる方（個人、団体、企業）、市町村職員等どなたでも参加できます。

定員100名程度

プログラム

■開会・挨拶

■基調講演



テーマ 地域における環境教育 とは(仮題)

～エコミュージアムの取組を通じた人材育成～

大原一興氏

(横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授、日本エコミュージアム研究会)

○プロフィール

1958年東京都生まれ。83年横浜国立大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。87年東京大学工学系研究科建築学博士課程単位取得満期退学。同年東京大学工学部建築学科助手。91年横浜国立大学工学部建築学科助手等を経て現職。工学博士。一級建築士。主な著書「エコミュージアムへの旅」(鹿島研究会)ほか。

■パネルディスカッション

これからの環境教育を考える

～若者を巻き込んだ環境活動の展開方策～

[パネリスト]

齋藤秀光氏 (ひろさき環境パートナーシップ 21広報)

高田敏幸氏 (NPO法人岩木山自然学校顧問)

河村信治氏 (八戸工業高等専門学校副校長)

土井良浩氏 (弘前大学大学院地域社会研究科准教授)

日比野愛子氏 (弘前大学人文社会科学部准教授)

[コメンテーター]

大原一興氏

[コーディネーター]

北原啓司氏 (弘前大学大学院地域社会研究科長)

主催：弘前大学、青森県

環境教育を考えるシンポジウム 参加申込書

会場案内図

JR弘前駅周辺からのアクセス

■バス

JR弘前駅前（中央口）【3番のりば】又は
【弘前バスターミナル前のりば】から

「小栗山・狼森線」又は「学園町線」乗車、
【弘前大学前】下車

■タクシー

JR弘前駅から約5分

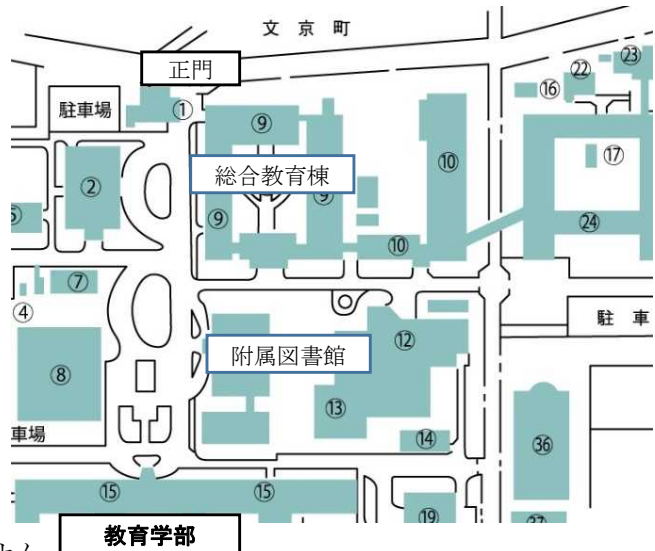
■弘南鉄道

【弘高下駅】下車（徒歩約5分）

【弘前学院大前駅】下車（徒歩約7分）

※構内には十分な駐車スペースがございません。
なるべく公共交通機関等をご利用下さい。

弘前大学（文京キャンパス）構内図



お申し込み・お問合せ先

参加を希望される方は、ファックス又は電子メールにてお申込みください。

青森県 環境生活部 環境政策課 環境管理グループ上明戸 電話：017-734-9241

■FAX：017-734-8065 ■E-mail：kankyo@pref.aomori.lg.jp

■申込締切 2月13日（月）

※ 定員に達し、御参加いただけない場合のみ御連絡します。

環境教育を考えるシンポジウム 参加申込み（FAX：017-734-8065）

お名前	所属団体 ※なければ記載不要	電話番号